


益田市の社協だより

Vol.272
2023年8月号

はあてい

 この広報誌には、赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

『第21回 益田市障がい者スポーツ大会』開催



6月18日（日）益田市陸上競技場で『第21回 益田市障がい者スポーツ大会』が開催されました。毎年開催されていた大会も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休止せざるを得ない時期もあり、また今回も時間や競技等の規模を縮小しての開催でした。参加された障がい者の皆さんを始め、石見高等看護学院や益田翔陽高等学校の生徒さんなどたくさんのボランティアさんの協力もあり、青空の下、笑い声の響く楽しい大会となりました。

益田市社会福祉協議会

本 所 〒698-0036 益田市須子町3-1 TEL: 22-7256 FAX: 23-4177
美都支所 TEL: 52-2392 FAX: 52-2716 / 匹見支所 TEL: 56-0374 FAX: 56-0387

ますだボランティア情報 No.57

地域住民の移送ボランティア

種地区 「訪問型サービスD」利用による 移動支援



昨今、多くの地域で「移動弱者」や「買い物難民」問題が発生しています。加齢とともに、これまでは当たり前に出ていたことが出来なくなっていきますが、これはいずれ誰もが直面する課題でもあります。現在、益田市内でも交通問題は大きな課題となっており、各地域でさまざまな取り組みが行われています。各地区の取り組みについて一部を紹介していきますので、皆さんも自分たちだったらこの課題にどう取り組んでいくのかを考えてみませんか。

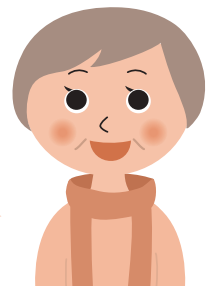
●『介護予防・日常生活支援総合事業』の活用(種地区)

種地区では、週に1回 公民館横の「ひだまり茶屋」で送迎付きの高齢者サロンを開催、また通院等の送迎を行っています。このサロンの運営と移動支援に種地区が利用しているのが『介護予防・日常生活支援総合事業』の中の「通所型サービスB」と「訪問型サービスD」です。これらは国の制度となりますが、種地区が益田市内で一番最初にこの制度を地域住民の活動の中に取り入れました。種地区では、他地区に比べて住民が少ない分、さまざまな制度を利用した助け合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

「訪問型サービスD」は①通所型サービスの送迎等や②通院等の送迎前後の付き添い支援が可能であるため、今後さまざまな地域で自分たちの取り組みや地域の実情にあった形で利用を検討していただきたい制度でもあります。ただし国の制度で少し分かりにくいところもありますので、検討される際には益田市の高齢者福祉課、お近くの地域包括支援センターや社協の生活支援コーディネーターなどにご相談なさってください。また既に制度の運用をしている種地区の活動もきっと参考になることでしょう。

種地区「訪問型サービスD」利用者Kさんへのインタビューより

令和2年5月から2年半利用をしています。
毎月一度 通院をしないといけないので、助かっています。
ただ、反面一人で利用しているときなどは気兼ねもあって…
地域内に気になる知人もいて、その人も通院に利用してくれたら
いいのになと思っています。



せっかくの地域の取り組みも、利用してくれる人がいないと継続的な活動につながっていきません。Kさんも「送迎してくれるボランティアさんに申し訳ない」と何度も言われていたのが印象的でした。ただ、地域のボランティアさんたちは遠慮しないで頼って欲しいと思っている人たちばかりです。

これから先、移送支援に関しても益田市の各地域でさまざまな住民主体の取り組みが広がっていきます。支援をする側だけでなく、受ける側も、自分の住んでいる場所で行われている取り組みを知り、利用することは立派な地域貢献ですので、遠慮せずどんどん利用して地域の取り組みを応援しましょう！

また、移送支援は現在の公共交通の代わりになるものではありません。公共交通や地域の取り組みを自分の暮らしの中でバランスよく利用して、より住みよい環境を作っていけるといいですね。

益田市社協

あんしん生活支援センター

「困った…」を誰にも
相談できない方へ



益田市社協
あんしん生活支援センター
へご相談ください!

お問い合わせ・ご予約

フリーダイヤル:0120-062-301 (月~金 8:30~17:30)
TEL:22-7256/FAX:23-4177 〒698-0031 益田市須子町3-1
(益田市総合福祉センター内)

8月より各種講座が始まります!!

① 市民後見人養成講座

8/10(木)~12/21(木)全10日間

「成年後見制度」や色々な障がいの特性、対人援助の基礎、判断能力が
不十分な方たちをどう支援していくかなどが学べます!

② 福祉公開講座 (全5回)

8/8(火)『お薬と健康』 10月11日(水)『心の健康』

お薬のことや、お葬式の疑問など、毎日の生活にちょっとプラスになる
身近なテーマを取り上げた講座です。1講座だけの受講もOK!



益田市社会福祉協議会(本所・美都支所・匹見支所)と各公民館、ハローワーク、シルバー人材セ
ンターに設置してある所定の申込用紙に必要事項をご記入の上、益田市社協に提出していただくか、
お電話・FAXにてお申込ください。また詳細は社協ホームページでもご覧いただけます。



美都無料法律相談のご案内

9/11 (月)
13:00~15:00

場所:ふれあいホールみと
担当:おとよし法律事務所
田中 秀樹 弁護士



問合せ先:
益田市社会福祉協議会
美都支所 ☎ 52-2392

※相談には事前予約が必要です。

もしくは本所☎22-7256まで

益田市社協 あんしん生活支援センターの相談日

どんなことでも、
まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決への
お手伝いをいたします。



無料法律相談
時間:13時~15時

9月8日(金) ※8月は第2金曜日が祝日のため
相談はお休みです
羽柴貴宏弁護士
※都合により変更になる場合もあります

ふれあい福祉相談
時間:10時~15時

9月8日(金) ※8月は第2金曜日が祝日のため
相談はお休みです

老人・ひとり親相談
時間:10時~15時

8月25日(金)/9月8日・22日(金)

3. 指定管理事業・介護サービス事業等の適正な管理経営

(1) 指定管理事業

- 益田市総合福祉センター<本所>
- 益田市立匹見保育所<匹見支所>
- 美都地域高齢者福祉施設<美都支所>
- 匹見地域高齢者福祉施設<匹見支所>

(2) 在宅・施設福祉サービス事業
<本所>

- 指定居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 1,752名
- 指定訪問介護事業所
 - ・延べ訪問回数 5,256回
- 指定訪問入浴介護事業所
 - ・延べ訪問利用者数 1,269名
- 高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)生活援助員派遣事業 44世帯

<美都支所>

- 美都町居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 443名
- 美都町ホームヘルパーステーション
 - ・延べ訪問回数 2,419回
- 益田市立美都デイサービスセンター
 - ・延べ利用者数 3,886名
- 益田市立特別養護老人ホーム 美寿苑
 - ・介護老人福祉施設 定床利用率 99.2%
 - ・短期入所生活介護事業 定床利用率 74.8%

- 益田市立老人ホーム 春日荘
 - ・養護老人ホーム 入所定員 50名
 - ・外部サービス利用型特定施設
- 美都地域包括支援センター
 - ・延べ相談件数 242件
- 配食サービス事業 延べ利用者数 821名
- 外出支援サービス事業(移送サービス)
<匹見支所>
- 匹見指定居宅介護支援事業所
 - ・延べ利用者数 483名
- 匹見訪問介護事業所
 - ・延べ訪問回数 1,729回
- 匹見指定もみじ通所介護事業所(もみじデイ)
 - ・延べ利用者数 3,026名
- 匹見指定通所介護事業所(ふれあいデイ)
 - ・延べ利用者数 789名
- 益田市立特別養護老人ホームもみじの里
 - ・介護老人福祉施設 定床利用率 98.2%
 - ・短期入所生活介護事業 定床利用率 54.7%
- 益田市立匹見高齢者生活福祉センター ふれあいの園
 - ・定床利用率 74.3%
- 匹見地域包括支援センター
 - ・延べ相談件数 206件
- 配食サービス事業 延べ利用者数 1,130名

4. 社会福祉法人等との連携・協働による地域公益活動の推進

- 益田市社会福祉法人連絡会の運営
- 社会福祉法人・福祉施設等との連携・協働による地域公益活動の推進
- 支えあいマスクバンク事業の継続実施
 - ・寄贈枚数 19,567枚 配布枚数 7,657枚

5. 本会の総合力向上と更なる発展に向けた経営基盤の強化

- 組織統治体制の確立と機能強化
 - ・理事会(3回)、評議員会(2回)、監査会(2回)
 - 評議員選任・解任委員会(1回)
 - ・苦情受付 受付件数 1件、解決件数 1件
- 職員の人材確保・育成・定着の推進
- 持続可能な安定した財源確保と健全な財政運営
 - ・社協会費(一般会費・賛助会費・特別会費)
 - 16,941口 14,385,400円
 - ・善意寄附金
 - 107件 5,049,334円

令和4年度 益田市社会福祉協議会資金収支決算

収入項目		支出項目	
会費収入	14,385,400	人件費支出	665,736,615
寄附金収入	5,159,334	事業費支出	252,547,004
経常経費補助金収入	97,377,429	事務費支出	60,541,263
受託金収入	348,707,325	利用者負担軽減額	0
貸付事業収入	981,300	貸付事業支出	965,000
事業収入	11,016,222	共同基金配分金事業費	12,161,327
負担金収入	218,500	助成金支出	13,953,291
介護保険事業収入	529,988,795	負担金支出	847,840
保育事業収入	2,492,568	その他の支出	513,930
障害福祉サービス等事業収入	2,288,140	固定資産取得支出	1,827,330
受取利息配当金収入	2,615	ファック入・リース債務の返済支出	6,042,036
その他の収入	8,989,346	基金積立資産支出	362,860
積立資産取崩収入	70,000,000	積立資産支出	70,000,000
拠点区分間繰入金収入	48,641,229	拠点区分間繰入金支出	48,641,229
サービス区分繰入金収入	50,585,705	サービス区分繰入金支出	50,585,705
その他の活動による収入	26,151,400	その他の活動による支出	23,186,600
前期末支払資金残高	148,977,556	当期末支払資金残高	158,050,834
収入合計	1,365,962,864	支出合計	1,365,962,864

令和4年度 益田市社会福祉協議会事業報告 (R4.4.1~R5.3.31)

昭和27年11月10日に任意団体として設立した我が『益田市社会福祉協議会』は、行政をはじめ多くの関係機関・団体と市民の皆様を支えていただいたおかげにより、令和4年に創立70周年を迎えました。地域共生社会の実現に向けて、本会キャッチフレーズ『助けてよし、助けられてよし、そして共によし』を掲げ、本会の持つ総合力とネットワーク力を活かしながら各事業の更なる推進に努めていましたが、令和2年初頭から続く新型コロナウイルス感染拡大により、令和4年度もコロナ禍の影響を大きく受けた一年となりました。

その中でも、本会が創立70周年を迎えるにあたり、これを記念した「益田市社会福祉協議会創立70周年記念 第40回益田市社会福祉大会」を11月に開催、「益田市社会福祉協議会創立70周年記念誌」を作成する等本会が益田市市民の皆様と共に歩んできたこの70年の歴史を振り返り、これまで受け継がれてきたバトンを後世に繋いでいく責務を改めて自覚する良い機会となりました。また益田市と一体的に『第4期益田市地域福祉計画・益田市地域福祉活動計画』を策定、コロナ特例貸付や生活困窮者支援の継続実施、生活支援体制整備事業の更なる推進等におきまして、市民のみならずには様々な面でご支援とご協力を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

<重点項目及び主な実施事業>

1. 地域福祉推進基盤の強化と第4期益田市地域福祉活動計画の策定

- 第3期益田市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進及び進捗管理
- 第4期益田市地域福祉活動計画の策定
- 益田市生活支援体制整備事業の推進
- ふれあいのまちづくり事業
- 地域福祉活動助成事業
 - ・助成団体数 3団体(助成総額 577,000円)
- 地区社会福祉協議会との連携強化と活動支援
- 関係福祉団体との連携強化と活動支援
- 福祉バス運行事業
 - ・延べ利用団体数 111団体 延べ利用者数 1,486名
- ふれあい・いきいきサロン事業
 - ・新規サロン件数 0件 継続サロン件数 73件
- ふれあい・子育てサロン事業
 - ・新規サロン件数 1件 継続サロン件数 10件
- 福祉啓発・広報活動の充実強化
 - ・機関誌発行事業 社協だより「はあ〜てい」6回
 - ・社協ホームページ事業
- 福祉教育の推進
 - ・福祉教育推進協力指定校への活動支援
 - 小・中・高・養護学校 27校(1,471,500円)
 - ・出前手話講座の開催
 - 小・中・高・養護学校 10校(受講者数 512名)
 - ・福祉出前講座の実施
 - 実施件数 32件(延べ受講者数 688名)
 - ・あいサポート運動の推進
 - 実施件数 12件(延べ受講者数 154名)
 - ・実習生等の受入・養成
- 益田市ボランティアセンターの運営
 - ・ボランティア活動の促進・サポート
 - ・ボランティアに関する広報・啓発
- 「ますだボランティア情報」年3回発行 等
- 災害発生に備えた被災者支援活動の推進
 - ・益田ライオンズクラブと「災害ボランティア活動支援に関する協定」を締結、益田青年会議所と益田圏域3社協で連絡会議(年2回)を開催
- 益田市社会福祉協議会創立70周年記念 益田市社会福祉大会の開催
- 益田市社会福祉協議会創立70周年記念誌の作成
- 友愛メール事業による見守り活動<美都支所>
 - ・月平均発送者数 91.3名(延べ発送者数1,095名)
- 美都地域子育てサロンの開設<美都支所>
 - ・年5回(延べ参加者数 75名)
- 子育て用品レンタル事業<美都支所>
- 安心♡お買い物宅配サービス「匹見らくらく便」事業・「らくらくサロン」の開設<匹見支所>
 - ・らくらく便 登録 19世帯 延べ利用数 176回
 - ・らくらくサロン 開催数 4回
- 町民チャリティー発表会の開催<匹見支所>
- 小型除雪機貸出事業<匹見支所>
 - ・延べ4回



2. コロナ禍における生活困窮者支援の強化と総合的な権利擁護の推進

- あんしん生活支援センターによる包括的支援体制の充実・強化
- 総合相談事業
 - ・ふれあい福祉相談(相談件数 86件)
 - ・法律相談(相談件数 30件)
 - ・老人・ひとり親相談、電話訪問
- 生活困窮者自立支援事業
 - ・相談件数 222件 プラン作成 55件
- 福祉資金貸付事業
 - ・民生融金 32件(965,000円)
 - ・生活福祉資金 62件(18,290,379円)
- 入居債務保証支援事業
 - ・相談件数 15件 利用件数 19件
- フードバンク事業
 - ・支援件数 171件 寄贈品数 2,827件
- 日常生活自立支援事業
 - ・相談件数 2,254件 実利用者数 93件
 - ・新規契約件数 17件 支援回数 1,886回
- 法人後見事業
 - ・新規受任件数 6件 継続受任件数 7件
- 市民後見推進事業
 - ・福祉公開講座(18回) 受講者数延べ237名
 - ・市民後見人スキルアップ講座(4回)



令和5年度 社協会費ご協力のお願いについて

令和4年度も皆さまのご支援により、福祉事業を滞りなく展開できましたことを、心より感謝申し上げます。今年度も引き続き『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を積極的に推進してまいります。地域福祉事業推進のため、皆さまからのご支援ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

社協会費の種類

- 一般会費：800円（地区社協・自治会を通して各世帯にお願いしております）
- 賛助会費：1,000円以上（社協役員、評議員、福祉関係機関・団体及びその役員、その他個人）
- 特別会費：5,000円（篤志家、会社、団体等）

会費の使途

講演会・研修会、出前手話講座、サマーボランティアスクール、その他『誰もが安心して暮らせるまちづくり』を進めるための各種事業の貴重な財源として活用されています。

申込方法

一般会員会費につきましては、各自治会を通じてお願いしております。その他賛助会員、特別会員のご加入につきましては、直接社会福祉協議会窓口もしくは下記連絡先までお問合せください。

問合せ先

益田市社会福祉協議会 TEL：22-7256 FAX：23-4177 まで

7月利用分の福祉バス抽選会は

8月10日(木) 10:00~

(場所:益田市総合福祉センター)です。



令和5年度「子どもの未来応援セミナー」

全国でも増え続けている「子ども食堂」について知りたい方、地域活動やボランティア活動に興味・関心のある方などなたでも参加できるセミナーです。

9月3日(日)
13:00~16:00

(参加費無料)

詳細は社協HPか社協及び公民館等に配布されているチラシをご覧ください。

会場：島根県芸術文化センターグラントワ 小ホール

主催：島根県、島根県社会福祉協議会
開催協力：しまね子ども食堂ネットワーク



益田市社会福祉協議会新役員 (任期2年)

- 会 長 末成 弘明 (再任)
副会長 寺戸 紳児 (前常務理事)
常務理事 藤岡 寿 (新任)
顧 問 田中 敦 (前副会長)

善意の輪

(令和5年3月1日~令和5年5月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】			【香典返し】			【香典返し】		
(故) 田中 和子	白上町	金一封	川本 哲夫	下種町	金一封	澄川 俊嗣	美都御仙道	金一封
(故) 児玉 慧	下本郷町	金一封	田原 義光	下本郷町	金一封	(故) 村上 強	匹見町澄川	金一封
(故) 尾庭千代延	高津二丁目	金一封	(故) 大賀 忠雄	遠田町	金一封	(故) 澄川ハツコ	美都御仙道	金一封
(故) 狩野 富榮	須子町	金一封	匿 名	愛栄町	金一封	中村 文春	匹見町匹見	金一封
教 西 寺	高津一丁目	100,000円	和崎 広樹	左ヶ山町	金一封	【見舞返し】		
(改) 藤井 恭雄	波田町	金一封	(改) 吉田美知子	横田町	金一封	糸賀 延子	久城町	金一封
(改) 宮本 喬一	戸田町	金一封	(改) 弘中 敏夫	飯浦町	金一封	【一般寄附福祉事業へ】		
(改) 坂本 忠廣	白上町	金一封	(改) 城市 二郎	白上町	金一封	輪友MASUDA	七尾町	21,826円
(改) 村木 功敬	東 町	金一封	(改) 佐田 和子	横田町	金一封	あけぼの西町自治会	あけぼの西町	金一封
(改) 渋谷 宏文	幸 町	金一封	(改) 廣瀬 憲二	乙子町	金一封	(故) 中村 弥生	本俣賀町	金一封
斎藤 宗記	大草町	金一封	糸賀 延子	久城町	金一封	匹見第二老人クラブ		金一封

匹見 もみじの里 草取りボランティア



5月24日(水)平成30年より特別養護老人ホームもみじの里でボランティア活動をしていただいている『広瀬元気でいよう会』のみなさまが、中庭の清掃に来てくださいました。新型コロナウイルスの影響で2年ぶりの訪問となりましたが、梅雨入り前の暑い中、作業をしていただきました。利用者みなさんは、きれいになった中庭を心地よい風を感じながら散歩を楽しんでおられます。誠にありがとうございました。

(匹見支所：柴田)



美都 老人クラブ × 農事組合法人 × 保育所



6月22日(木)老人クラブ山寿会と農事組合法人ゆいの里美都が都茂保育所と交流しました。これは、都茂保育所の吉村園長先生より、「季節の行事や農産物に触れながら地域の方々と交流し、様々な体験を通して、子どもたちに昔からの知恵や伝統を教えてもらいたい」という相談をいただき、生活支援コーディネーターがお手伝いさせていただいて今年度から始まったものです。

今回は、地域の方7名と保育所園児7名が参加して、一緒にさつまいもの苗を植えました。子どもたちは、地域の方に手を添えてもらいながら、とても楽しく作業をしていました。

今年度は年間を通してたくさんの活動計画を立てています。この活動が長く続けていけるよう、これからも応援していきます。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)

「美都地域ふれあい・いきいきサロン交流会」開催

5月9日(火)美都地域ふれあい・いきいきサロン交流会を開催しました。この交流会は、日ごろ高齢者サロンを運営する世話人さんたちが集まって情報交換する場があると良いのではないかと考え、平成30年から始めたものです。今年度は、より親睦を深めてもらうことや、サロン同士の交流会開催など、新たなつながり作りを目的にグループワークの形で開催しましたところ、同じ美都町の中でも『初めまして』となる出会いもあり、お互いの活動の様子や日ごろの悩みなどを丁寧に話し合う有意義な時間となりました。

高齢化が進み独居高齢者が増えて行く中で、今後も高齢者サロンは地域にとってますますなくてはならない存在となります。これからも世話人さんが安心してサロン活動を続けられるよう、お手伝いしたいと思います。

(美都圏域生活支援コーディネーター：田村)



つなぐ社協

地域高齢者サロン  島根県立石見高等看護学院



なかよしハウス(美都)



丸茂フラワーサロン(美都)



きばらしの集い(匹見)



サロン都茂上いってみょう会(美都)



白上いきいきサロン松光会(中西)



大神楽サロン(美都)



駅前いきいき会(小野)



板井川女子会(美都)



サロンつもごー(美都)



澄川きらくな会(匹見)

石見高等看護学院では、医療を受ける側の人たちの暮らしを理解するために、1年生が中山間地域の高齢者の生活や地域を知るフィールドワークを実施しています。益田市社会福祉協議会は長年地域と関わってきた経験を元に、令和4年度から石見高等看護学院の生徒さんたちと地域の高齢者サロンをつなぐお手伝いを始めました。

各地域で活動する生活支援コーディネーターが協力して、今年度は10か所の高齢者サロンと生徒さんたちをつなぐことができました。

益田市社会福祉協議会は、これから先も地域のさまざまな団体や集い同士をつなぐお手伝いを続けていきます。

発行：社会福祉法人 益田市社会福祉協議会
編集：益田市社会福祉協議会

〒698-0036 益田市須子町3-1
TEL:0856-22-7256 FAX:0856-23-4177
社協e-mail:masuda_h@masuda-shakyou.or.jp



「はぁーてい」は英語で「心の温かい」「真心のこもった」という意味をもつ「Hearty」の読みを日本語表記したものです。